

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、環境調査と並行し、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるカレニア ミキモトイが最大0.01細胞/ml、カレニア パピリオナセアが最大0.05細胞/ml確認されました。現在の細胞数は非常に少ないですが、細胞数の急激な増加による被害発生の可能性も考えられるため、今後の海色や飼育魚の状態を注視し、飼育魚にストレスがかからないよう十分注意してください。

またアカシオ サンガイネアが最大0.04細胞/ml確認されました。

また麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大0.02細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	カレニア ミキモトイ	カレニア パピリオナセア	アカシオ サンガイネア	アレキサンドリウム属
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)				
弘浦② (別図①) 採水時間 9:17 透明度 8.5 m	10.0	21.7	34.3	6.8	0	0.05	0.04	0
青瀬山 (別図③) 採水時間 9:31 透明度 9.0 m	10.0	22.3	34.4	6.6	0	0	0	0
栄喜奥 (別図②) 採水時間 9:37 透明度 10.5 m	8.0	22.4	34.4	6.7	0	0	0.02	0.02
一切田 (別図⑪) 採水時間 9:43 透明度 11.0m	10.0	22.3	34.4	6.7	0.01	0	0	0
立石 (別図⑫) 採水時間 9:52 透明度 14.0 m	10.0	22.3	34.5	6.6	0	0	0	0
白簪 (別図④) 採水時間 10:01 透明度 14.8 m	10.0	22.5	34.5	6.7	0	0	0	0